

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary
一宮RC



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858

ロータリーのマジック

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp



2024年10月7日 第3609回例会



会 長 佐々木久直 会長エレクト 山上 哲 司
副 会 長 森 克彦 副 幹 事 大 鹿 晃 裕
幹 事 鶴 飼 雅 弘 会 報 委 員 長 浅 野 一

プログラム

尾西RC合同ガバナー公式訪問

吉川 公章君
(名古屋南RC)

国 歌 「君が代」
ロータリーソング 「奉仕の理想」

第3608回例会の記録
2024年9月26日(木)

会長挨拶

佐々木久直

今週になり朝夕は少し涼しくなり秋の気配を感じますが、日中はまだ暑いので体調の管理が大変です。石川県では元旦の地震に続き、今回の豪雨でいまだに大変な被害が続いています。心からお悔やみ申し上げます。まだ丁髷も結えない若い大の里の優勝と大関への昇進で、少しでも元気づけられればと願います。本日もご出席いただきありがとうございます。

今月は「基本的教育と識字率向上」月間です。一宮市教育委員会学校教育課課長の尾関義彦氏に「教員の仕事とこれからの学校」をテーマに卓話をいただきます。宜しくお願いします。

10月24日(木)の真清田神社に植樹をする補助金事業に、現在NHKの大河ドラマ「光る君へ」に赤染衛門役でご出演の風稀かなめさんをゲストでお呼びします。植樹をする真清田神社の楼門前に赤染衛門の歌碑があります。「賤の男の種干すといふ春の田を 作りますだの神に任せん」(しづのをの たねほすといふ はるのたを つくり ますだのかみにまかせん)

詠者の赤染衛門は、木曾川から用水路である大江川の開削を行ったといわれる尾張国司・大江匡衡(おおえの まさひら)の妻です。尾張の農民が974年と989年の二度にわたり国主や国司の不法(水路の改修費を着服し、洪水や飢饉に何も手を打たなかった事)を朝廷に陳情しました。朝廷は事態の收拾を図ろうと、1001年の1月に文章博士・大江匡衡を尾張に派遣しました。

次回の予定

米山月間卓話
李 昱さん

国際ロータリー第2760地区

2024-2025年度 ガバナー

吉川 公章君 (名古屋南RC)



生年月日 1951年1月19日
職業分類 病院
勤務先 社会医療法人宏潤会
大同病院
役 職 相談役・名誉理事長
ロータリー 歴

2008年1月
2010~11年度
2012~13年度
2013~14年度

名古屋南ロータリークラブ入会
出席委員会 委員長
社会奉仕委員長
環境保全委員長
地区奨学基金・学友・平和フェロウシップ委員
2014~18年度 地区職業研修チーム副委員長
2018~19年度 会長
2019~20年度 直前会長、ロータリー研修委員長
危機管理委員長
地区研修委員
2021~22年度 地区研修副委員長
2022~23年度 地区戦略計画委員
地区会員増強委員
地区青少年交換委員会 カウンセラー
2023~24年度 ガバナーエレクト、地区諮問委員
立法案審議委員
地区戦略計画委員
地区危機管理委員
地区大会企画委員
地区研修・協議会企画委員
地区青少年交換委員会 アドバイザー

メジャードナー (Level 1) / ベネファクター

ポール・ハリス・ソサエティ

ポリオプラス・ソサエティ

第1回米山功労者

赴任の時に妻の赤染衛門が真清田神社に参拝し、この和歌を献詠し争議の解決を神前に祈願したのです。

大江匡衡が当時赴任した尾張国司は現在の稲沢松下にあり、稲沢市松下1丁目に「赤染衛門歌碑公園」があります。大江匡衡が寺社の改修や治水事業に取り組んだ記念碑と、赤染衛門の歌碑があります。ぜひこちらにも訪れてみてはいかがでしょうか？大江匡衡と赤染衛門はおしどり夫婦と知られ、匡衡衛門(まさひらえもん)と呼ばれたと言われます。ご利益があるかもしれません。

理事会報告

鵜飼雅弘

* 報告事項 *

- ☆ 10月度のプログラムは週報掲載
- ☆ 9月度のニコボックス 57,000円
- ☆ 9月度のドリンクニコボックスは 4,391円
- ☆ 米山記念奨学会6千万達成クラブ感謝状
- ☆ PHF+3 野杵章夫君
- PHF+2 森 保彦君 森島勝美君
- PHF+1 山口元彦君 関戸 徹君 森 俊夫君
墨 芳郎君 滝 善藏君 光寄賢一君
豊島半七君 岩田 功君 岸 岩男君
森 克彦君 長谷川勝久君 浅野 一君
- ☆ ローターレート10月から142円 (現行145円)

* 協議事項 * 以下の項目を承認

- ☆ 奉仕プロジェクト・クラブラーニング合同委員会開催
- ☆ 地区青少年交換プログラム第1回三者面談会 登録
- ☆ クラブ職業奉仕委員長会議 登録
- ☆ ローター希望の風奨学金 110,000円抛出
- ☆ 米山記念館賛助会員コーポレーター 一口協賛
- ☆ 赤い羽根共同募金 社会奉仕委員会予算より抛出

委員会報告

ニコボックス

佐藤博之

- ☆ 足立 誠君
本日、本校に在学中のロータリー留学生エリザベスさんの「お誕生日」を会員の皆さんに祝っていただく喜びで。
- ☆ 山上哲司君
さる9月20日岐阜カンツリー倶楽部で開催されたIRGゴルフコンペにて赤組優勝した喜びで。大御所・土川さん、東海高校先輩の榊原さん、光寄さんと同組で緊張のラウンドでした。ありがとうございました。
- ☆ 高木道久君
本日は、尾関良彦課長の卓話をお聴きできる喜びで。例会に出席することは良いことですね。
- ☆ 都築 健君
9月20日に行われました第1回IRGゴルフコンペに暑い中23名の参加を頂きありがとうございました。次回は来年3月21日に拡大IRGゴルフコンペを開催する予定ですので、たくさんの方のご参加よろしく願います。
- ☆ 中西啓太君
先週20日金曜日に行われましたIRGゴルフコンペにて図らずも白組で優勝してしまいました。1年ぶりに勝った喜びで。
- ☆ 加藤 亘君
本日の例会に一宮市教育委員会学校教育課の尾関様を講師としてお招きした喜びで。尾関様、宜しくお願ひ致します。
- ☆ 佐々木久直君 鵜飼雅弘君
本日は一宮市教育委員会学校教育課課長の尾関良彦様をお迎えし卓話を頂ける喜びで。青少年交換受入学生のリ一さんお誕生日おめでとうございます。

出席報告

現在の会員数	114名
本日の出席数	66名
前々回の出席率	100%

***** プログラム *****

卓話

尾関良彦氏

一宮市教育委員会学校教育課 課長
テーマ「教員の仕事とこれからの学校」

本日は、「教員の仕事とこれからの学校」と題してお話をさせていただきます。1点目は児童生徒の「学び」についてです。

一宮市では「一宮市学校教育推進プラン」を拠り所とし、「わかる・できる・身につく」授業づくり、「言語活動」を充実させた協働的な授業づくり、「ICT(情報通信技術)」を

効果的に活用した授業づくりを目指しています。

教員は授業の中で、児童生徒が「分かった!」「できた!」「身についた!」と感じる場面を創り出すために、研究や準備を毎日行い、授業に臨みます。言語活動で重要な要素は、「読む力」「読解力」「コミュニケーション力」です。声に出して読む、語彙を増やす、情報を取り出す、話し合って課題を解決する等の活動を国語だけでなく、他教科でも多く取り入れています。ICTでは、文部科学省から「GIGAスクール構想」が発出され1人1台端末の整備が決まり、一宮市でも令和3年に全児童生徒へ端末の配備が完了しました。これにより、従来の鉛筆やノートと並ぶマストアイテムとして端末が授業で活用され、動画や音声などの多様なデジタルコンテンツが利用可能になりました。



2点目は教員の仕事です。教職は、子ども達の変化や成長を自分自身の喜びとしてともに感じることができる魅力的な仕事ですが、一方で、「働き方改革」が急務とされています。文部科学省の「教員勤務実態調査」では、一日当たりの在校時間は小学校で10時間45分、中学校で11時間と言われ、国の定める残業時間の上限である月45時間を超える教員は、小学校で64.5%、中学校で77.1%にのびます。教員の仕事は時間で区切れず、時間を忘れて働くことを是としきましたが、過重労働を背景に教員志願者が減少し、人材不足が深刻化しています。また、教職員の精神疾患による病気休職者数は全国で6,539人と過去最多になっています。特に20代の増加率が顕著で若手のサポートが課題となっています。

働き方の変化として、休日部活動の地域移行があります。一宮市では令和5年度から7年度を改革推進期間と位置づけ、休日部活動地域移行のために議論を重ね、スポーツ・文化的活動のモデル事業を展開しています。学校の枠組みを離れ、様々な皆様にご協力いただきながら、中学生にできる限り多くの活動の場が提供できるよう努力しています。

モデル事業は、令和6年7月現在で、11種目・13団体、参加生徒数は700人を超え、活動拠点が20か所以上に増えています。

最後はこれからの学校についてです。一宮市には小中学校が61校ありますが、校舎全体の約9割が建築後40年以上経過し、小学校15校、中学校8校が築60年以上の校舎を保有しています。鉄筋コンクリート建造物の耐用年数が70年とされ、待ったなしの状況です。

令和5年6月に「シン学校プロジェクト」が提案され、市民・地域の皆様から御意見を聞きながら、新しい時代にふさわしい学校づくりが進み始めました。今年6月までに市民の皆様からアイデアを募ったところ多数の応募があり、校舎の建て替え案だけでなく、保育園、児童館、公民館等のコミュニティ施設を学校に併設する複合化案や、複数の学校を統合する案、小中一貫校とする案などが集まりました。その中から第1期の対象校10校が決定し、令和16年3月までの予定で建て替えが進んでいきます。また、対象校以外の長寿命化対策も随時進め、一宮市の未来を担う子ども達のため、快適な教育環境を維持できるよう今後も努めていきます。

本日は、「児童生徒の学び」、「教員の働き方」、「将来の学校」について話をさせていただきました。拙い話を最後までお聞きいただき、ありがとうございました。